



辞書を用いた 多義語の調べ学習

◆この授業を試してみようと思ったきっかけ

・私が今まで出会った日本語学習者は初級レベルの方が多く、あることばの意味を聞くとクラスに複数の学習者がいても全員1つの意味しか知らないということがあった。授業中にスマホを用いてことばの意味を調べても複数の意味の中から適切な意味を見つけることはなく、一番上の意味だけを見て満足気にしていた。

語彙の学習は時間をとってじっくり取り組んだほうが記憶に残るという話を聞いたことから、辞書を用いて多義語を知る時間をとってみようと思い、この授業の計画を立てた。

◆この授業に参加する生徒について

- ・日本在住約3年ほどで、仕事と学校以外では母語を使用して生活している。
- ・職場で日本語を使用する機会はほぼない。
- ・年齢は20歳代～50歳代までで、全員非漢字圏出身。約5名（出席が安定しないため）
- ・初級レベルではあるが、日本語を聴く力と簡単な質問に的確にこたえる能力があるので、やさしい日本語を用いたコミュニケーションが可能である。

◆授業の目標

普段あまり使用することのない紙の辞書に触れ、
日本語の辞書の基本的な 使い方を学ぶ。
既習の語であっても複数の意味を持つ語が
あることを知り、今後の語彙学習への意欲につなげる。

※指導計画は別紙に記載

◆授業中の生徒の反応

- ・最初は「ききます」からスタートした。「音楽を聴く」と「質問をする」の意味があることは理解できていたが、自らすすんで2つの意味を言う生徒はいなかった。教師から示して「そういえば、そうだ」という反応だった。
- ・「あおい」はblueの意味はよく知っていたが、野菜や信号で使う「あおい」を知っている生徒は一人もいなかった。辞書に書かれている意味を読んでもよく理解できなかったようだが、イラストなど視覚を使うことで理解につながった。

◆生徒の反応からの気づき

・辞書はやさしい日本語で書かれているが、私のクラスの生徒にとってはまだ難しい表現が多いようにみられた。日本語は多義語が多いことには気づいていたようだが、集中して学習する機会がなかったようなので、今回のように集中してあるテーマに沿った語彙学習をする機会を設定できると良いと思った。

・普段はスマホの辞書を使用しているが、適切な意味を調べるために複数の意味を比較することはなさそうなので、今回のような学習をすることで、自分でことばを調べるスキルを高めることができると考える。

◆生徒の感想

じしよを つかって 分かったこと おもったこと

この じしよを つかって にほんご の いみを もっと しりたいです。

じしよをつかってわかったこと・おもったこと

このじしよはつかってにほんごのことばをもっとしりたいです。

じしよ を つかって 分かったこと おもったこと

この じしよを つかって 日本語の いみを しりたいです

じしよをつかってわかったこと・おもったこと

- じしよをつかってにほんごのことばのいみをしりたいです。

◆おわりに

・デジタルネイティブの生徒たちに紙の辞書を渡すとどんな反応をするのだろうかと思いつながりながら授業を行ったが、授業時間外にも辞書をめくって興味深そうに見ていた姿が印象的だった。最後の発表会も入学してはじめてスライドを制作して日本語で発表するという貴重な機会となり、聴いている人に伝わる日本語で表現できたという成功体験は今後の日本語学習への意欲につながるだろう。

今後も引き続き、辞書を使った学習を続けていきたいと思う。